

ブイゲットパラタスL粒剤

[スピネトラム・トリフルメゾピリム・チアジニル粒剤]

農林水産省登録	第24715号
有効成分	スピネトラム・・・0.75% トリフルメゾピリム・・・ 0.75% チアジニル・・・6.0%
性状	類白色～淡黄緑色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称） 危険物：- 有効年限：3年 包装：1kg×12
RACコード：殺虫[5][4E]殺菌[P3]

特長

- 育苗処理でいもち病と水稲主要害虫（イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、コブノメイガなど）を同時防除できます。
- ブイゲットは、稲をいもち病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有し、安定した効果を示します。また、耐性菌出現リスクが低く、既存薬剤に耐性菌にも有効です。
- スピネトラムは、コブノメイガに対して、高い防除効果と優れた効果持続性を発揮します。
- トリフルメゾピリム（ゼクサロン）は、トビイロウンカ等のウンカ類に対して極めて高い防除効果を示します。また、既存剤に対して抵抗性を示すウンカ類に対しても有効です。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切る。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 コブノメイガ ウンカ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	本剤の所 定量を育 苗箱の上 から均一 に散布す る。	3回以内 (移植時 までの処 理は1回 以内、 本田では 2回以 内)	1回	3回以内 (移植時 までの処 理は1回 以内、 本田での 散布は2 回以内)
	イネミズゾウムシ幼 虫 イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ		移植当日					
	いもち病 コブノメイガ ウンカ類 イネミズゾウムシ幼 虫 イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ	高密度には種する 場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)						

製品写真



最新の登録内容はこちら

